

明治大学文学部
日本語教員養成プログラム
ガイダンス



本日の内容

- 日本語教員について
- カリキュラムについて
- 日本語教育実習について
- プログラムの登録について

日本語教員について



日本語教員とは？

日本語教員とは、日本語を母語としない人々に、
『外国語としての日本語』を教える教員のことです。

現在、国内には約38,000人の日本語教師が在籍し、
約217,000人が日本語を学んでいます。

(平成28年度 国内の日本語教育の概要より)

国内で働く日本語教員になるためには？

【国内の日本語学校で就職するための条件（学部生版）】

以下のいずれかの条件を満たしていることが必要となります。

- （１）大学において日本語教育に関する教育課程を修了し、
所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業した者。
- （２）大学において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、
かつ、当該大学を卒業した者。
- （３）日本語教育能力検定試験に合格している者。
- （４）学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって
適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者。
- （５）上記と同等以上の能力があると認められる者。

明治大学文学部生の皆さんは、

『日本語教員養成プログラム』を修了し、

本学を卒業することで、(2)の要件を満たすことができます。

(2) 大学において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業した者。

海外で働く日本語教員になるためには？

世界には約400万人の日本語学習者が存在しており、
様々な国に『日本語』や『日本文化』を学びたい学習者がいます。

特に海外では教材やカリキュラムの不足、現地教師の支援体制など、
様々な問題や課題を抱えており、日本語教員の需要が高まっています。
そのため、日本語教員の活躍の場は海外がメインとなります。

海外で日本語教員として働く場合、以下の例が挙げられます。

【具体的な派遣例】

- 独立行政法人 国際交流基金の海外派遣
- JAICA青年海外協力隊員（日本語教育専門）
- 現地教育機関での直接雇用

※詳細や条件は国際交流基金やJAICAのHPをご確認ください。

日本語教員として働くだけでなく、
海外駐在となった場合、ボランティアやパートタイム等で
身に着けたスキルを活かすことも可能です。

日本語教員養成プログラムのメリット

日本に在住する外国人との
交流に役立つ

中高の教員を目指すうえで
+αの勉強ができる

海外での活躍の可能性が広がる

学外の日本語教育機関で
実習ができる。

全ての科目を
卒業要件単位として
参入できる

どんな学生にお勧めですか？

- 中学・高校の教員を目指す学生
- 日本語教育に興味のある学生
- 国語学・英語学・フランス語学を学んでいる学生

『日本語教員養成プログラム』 について

カリキュラム（2016年度以前入学者）

選択必修

I

選択必修

II

選択必修

III

選択必修

IV

選択必修 I (4単位以上)

1・2年次

- 国語学 I A
- 国語学 I B

3・4年次

- 国語学 II A
- 国語学 II B

選択必修Ⅱ（10単位以上）

1・2年次

- 国語学各節ⅠA・B
- 日本語音声学
- 日本語史
- 言語学A・B
- 音声学A・B

3・4年次

- 国語学各節ⅡA・B
- 音韻・形態論A・B

選択必修Ⅲ（8単位以上）

1・2年次

3・4年次

- 日本語教授法 I・II
- 日本語教育学演習A・B

選択必修Ⅳ（4単位まで参入可能）

1・2年次

- 日本文学史A～D
- 日本演劇史ⅠA・B
- 日本演劇史ⅡA・B
- 日本史概論A・B
- 日本文化史A・B

3・4年次

- 社会言語学
- 心理言語学

カリキュラム（2017年度以降入学者）

社会・文化・地域

言語と社会

言語一般

言語と教育

言語と心理

社会・文化・地域（8単位以上）

1・2年次

- 日本語史（必修）
- 日本文学史A～D
- 日本演劇史IA・IB・IIA・IIB
- サブカルチャー研究
- 現代文化論
- 日本史概論A・B
- 日本文化史A・B

3・4年次

- 異文化理解I・II
- 外国文芸受容史
- 東アジア近現代史A・B

言語と社会（2単位以上）

1・2年次

- コミュニティ心理学
- 社会心理学

3・4年次

- 社会言語学（推奨）
- ジェンダー論
- 社会的共生論

言語一般①（6単位以上）

1・2年次

- 国語学IA・IB（推奨）
- 日本語音声学（必修）

3・4年次

- 国語学IIA・IIB

言語一般② (4単位以上)

1・2年次

- 国語学各節IA・IB
- 言語学A・B
- 音声学A・B

3・4年次

- 国語学各節IIA・IIB
- 音韻・形態論A・B

言語と教育（9単位以上）

1・2年次

3・4年次

- 日本語教育演習A・B（必修）
- 日本語教授法I・II（必修）
- 日本語教育実習I・II

言語と心理（2単位以上）

1・2年次

- 学習心理学
- 認知心理学
- 発達心理学

3・4年次

- 心理言語学（推奨）

日本語教育実習について

日本語教育実習I（春学期）

具体的な内容は以下のとおりです。

- 授業見学（初級・中級・上級）
- 日本語学習者との会話実践
- 振り返り・報告会

日本語教育実習II（秋学期）

学外の日本語学校，日本語教員養成機関で行われる実習です。
具体的な内容は以下のとおりです。

- 日本語学校授業見学
- 教案作成方法を学ぶ・教案大枠作成
- 実践練習・模擬授業
- 教壇実習
- 実習の振り返り・実習報告会

【注意】
参加にあたり、
実習費用が発生します。

プログラムの登録について

プログラム登録の流れ

2年生 12月

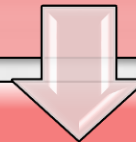
プログラム予備登録

日本語教育学演習・日本語教育実習希望調査



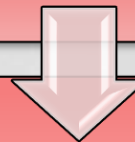
3年生 4月

プログラム本登録



3・4年生 4月

日本語教育実習Ⅰ 参加登録



3・4年生 7月

日本語教育実習Ⅱ 参加登録

文学部事務局



- 開室時間

平日 9:00~11:30

12:30~18:00

土曜 8:30~12:00

- 場所

和泉 第一校舎1階

駿河台 リバティタワー4階

- TEL

03-3296-4182/4183 (駿河台)

ご清聴ありがとうございました。

ご不明な点があれば、
文学部事務室までご相談ください。

